

楽しさがフットサルの原動力

県・九州大会を勝ち抜き 全国出場を果たす

エンフレンテ熊本フットサルクラブ(熊本市)は、九州代表としてJFA第10回全日本U-18フットサル選手権大会に初出場しました。その代表チームのメンバーとして活躍したのが、那須村翔さん(福富)、坂本凜弥さん(福富)、高原啓聖さん(福富)、高原惇暉さん(福富)、福山大公さん(畑中)です。

残念ながら全国大会初勝利を逃しましたが、福山さんを除く4人は中学生でありながら、体格や経験の差に負けずに勇敢に戦いました。「九州大会まではできたことが、全国では思うようにできなかった。全国のレベルの高さを感じた」と坂本さんは振り返ります。

楽しさを力に変えて 笑顔で仲間と共に戦う

「笑顔無き者はピッチを去れ」がクラブのスローガン。選手たちは、フットサルを愛

し、常に全力でプレーを楽しんでいます。

「スピーディーな試合展開で、選手の個性や技術力が際立つのが面白いです」と那須村さん。その言葉通り、サッカーより狭いコートで、10人の選手たちが所狭しと走り回り、パス回しとシュートの応酬がエキサイティングです。

「フットサルはチームワークが大事です。僕らは一人一人の意見を尊重しながら、ピッチで声を掛け合い、協力しています。それがチームの強さであり魅力です」と福山さんはほほ笑みます。

指導者の鶴田文彦さんは、「選手たちは素直で吸収力が高いです。心からフットサルを楽しんでいるからだと思います。全国大会に出場できたのも、このメンバーで挑めたからこそです」と語りました。

今後は冬の全国大会出場権を争うリーグ戦や、U-15大会に挑みます。「全国大会で勝てるチームを目指します」と力強く語る福山さん。彼らの挑戦はこれからです。

下段写真左から/
(1・2枚目)/
迫力の練習風景/
全国大会出場選手
の那須村さん、坂
本さん、高原惇
暉さん、高原啓
聖さん、福山さん



クラブ所属の町内選手たち 後列左から/那須村さん、坂本さん、高原啓聖さん、福山さん 前列左から/高原惇暉さん、
白石理人さん(辻の城団地)、永田一稀さん(広崎4町内)、中村泰希さん(田原)、舟戸湊太さん(小峯)

